

行政の事業仕分けについて

質問

平成17年4月1日より愛西市としてスタートした。それ以降、市としていろいろな事業に取り組んできたところだが、市としては事業の見直しを行った実績と効果について、また今後事業仕分けを行う計画があるか。

企画部長

保健センターは四つを二つに集約し、センターの効率的な管理運営及び保健サービスの充実という観点で行った。補助金の見直しは、見直し基準に沿って104項目の補助金

の見直しを進めている。

使用料・手数料の見直し基準の策定、これは受益者負担の原則により試算。まだ公表していないが、指針に基づいて作業を進めている。事業仕分けという一つの手法で取り組む考えはない。

質問

県は知事がかわり、仕事の仕方が大きく変わろうとしている。このようなときに、市は外部の方の参加、公開の場の議論による事業仕分けを行う計画はあるのか。

企画部長

議員の提案は一提案として承るが、今ここでそういった審査会という機関を設けるような考え方は持ち合わせていない。

農業政策について

質問

農政概要を作成した目的と、今後の農地の有効利用及び管理をどのように考えているのか。

経済建設部長

農政概要は農業の現状や課題を把握する目的で作成した。

農地利用集積円滑化事業などで、大規模な担い手に土地を集積して地域の農地を守っていく。

質問

畑に草が生えた場合、農地の課税はどのような評価か。

総務部長

畑のまま草が生えていると、農地課税ということで行ってきている。

質問

農地の管理が難しくなっており、愛西市として元気になるような農業の事業を検討してほしいか。

経済建設部長

農地について、農業を守っていくということは非常に大事なことだと思っている。当市としても農地の保全、有効利用については、来年度から戸別所得補償制度が本格実施をされる予定になっている。

これから農業経営の安定化に加えて、意欲ある多様な農業者に対して農地の利用集積などの措置や農地保全のための各種政策をいろんな形で進めていきたいと考えている。

その他の質問

市職員の状況について

